

# ITパスポート 公開セミナー

## 2. 出題範囲 (3分野 9つの大分類 23の中分類)

スキルアップ

### 情報処理技術者試験

共通キャリア・フレームワーク		技術者向け試験	利用者向け試験
レベル4	高度な知識・技能	高度試験 (複数の専門区分)	
レベル3	応用的知識・技能	応用情報技術者試験	
レベル2	基本的知識・技能	基本情報技術者試験	情報セキュリティマネジメント試験
レベル1	職業人に共通に求められる基礎知識		ITパスポート試験

### 1. ITパスポート試験の概要

試験の位置付け	経済産業省が実施する「情報処理技術者試験」の一区分であり、IT を活用するすべての社会人と、これから社会人となる学生が備えておくべき IT に関する基礎的な知識が証明できる国家試験です。
出題方式	コンピュータを用いた、CBT(Computer Based Testing)方式で随時実施されており、試験会場と受験日時をご自身で選んで予約していただけます。 (●試験問題は非公開であり、外部への開示は禁止)
受験手数料	7,500 円(消費税込み)
試験時間	●120 分(2 時間) ●時間帯は会場によって異なる
出題数	●小問形式の問題(四肢択一) : 100 問
分野別出題数	3 つの分野から出題されます……【出題数】 ●ストラテジ系(経営全般)……… [35 問程度] ●マネジメント系(IT 管理)……… [20 問程度] ●テクノロジ系(IT 技術)……… [45 問程度]
合格基準	次の(1)(2)の両方を満たした場合、合格とする。 (1)総合評価点: 600 点以上 / 1000 点満点 (2)分野別評価点: 3 つの分野ごとに満点の 30% 以上
試験終了後、画面上に採点結果が表示されます。合格者には、後日「合格証書」が交付されます。	

分野	大分類	中分類	主な出題ポイント	
ストラテジ系	企業と法務	1 企業活動	<b>ストラテジ(経営全般)……【出題率約35%】</b> ●企業が自社の経営資源を有効活用し、効果的な経営を行うためのヒトの活用や、経営管理手法に関する知識が問われます。 ●データ(ビッグデータを含む)の分析と利活用による業務改善や問題解決の手法が問われます。 ●知的財産権、セキュリティ、労働に関連する法規や、コンプライアンス、コーポレートガバナンスなどの企業の規範に関する考え方、及び情報倫理についての出題があります。 ●ビジネス分野での代表的なシステム、及び、AIやIoT(モノのインターネット)を利用したシステムやロボットなどの特徴、動向、生成AIの安全な活用などについての出題があります。 ●AIを利用する上での留意事項などが問われます。 ●経営戦略に基づいた情報システム戦略や、システム化計画の立案などの「システム企画」に関する知識が問われます。	
		2 法務		
	経営戦略	3 経営戦略マネジメント		
		4 技術戦略マネジメント		
		5 ビジネスインダストリ		
	システム戦略	6 システム戦略		
		7 システム企画		
マネジメント系	開発支援	8 システム開発技術	<b>マネジメント(IT管理)……【出題率約20%】</b> ●システム開発と運用の支援を行うために、システム開発の流れや「アジャイル」などの開発手法、及び、運用・保守に関する知識が問われます。 ●システム開発は「プロジェクト」であり、プロジェクトには納期やコストなどの制約条件があります。プロジェクト管理に必要な技術や活動内容が問われます。 ●ITサービスの品質を高めるための「サービスマネジメント」について、設計や運用などのプロセスが問われます。	
		9 ソフトウェア開発管理技術		
	プロジェクトマネジメント	10 プロジェクトマネジメント		
	サービスマネジメント	11 サービスマネジメント 12 システム監査		
テクノロジ系	基礎理論	13 基礎理論	<b>テクノロジー(IT技術)……【出題率約45%】</b> ●2進数の演算、ビット・バイトなどの基礎的な用語や概念、及び、論理的な思考能力が問われます。 ●プログラミング的思考能力を養うための、流れ図や擬似言語の問題、アルゴリズムに関する問題が出題されます。 ●AI技術に関する基本的な考え方や仕組みなどが問われます。 ●コンピュータのハードウェアやソフトウェア、システム構成要素についての基礎知識が問われます。 ●情報をわかりやすく伝えるための技術や考え方が問われます。 ●データベース、ネットワーク、セキュリティなど、IT社会を生きる上で欠かせない技術要素に関する知識が問われます。 ●身近な情報システムの安全な利用のために必要な知識が問われます。(不正アクセスの手口、ウイルス対策、暗号化など) セキュリティ関連の内容は特に出題数が多いです。	
		14 アルゴリズムとプログラミング		
	コンピュータシステム	15 コンピュータ構成要素		
		16 システム構成要素		
		17 ソフトウェア		
	技術要素	18 ハードウェア		
		19 情報デザイン		
		20 情報メディア		
		21 データベース		
				22 ネットワーク
				23 セキュリティ

出題範囲は広いので、計画的な学習が必要です。  
分野ごとに合格基準評価点が定められていますので、すべての分野をまんべんなく学習しておきましょう。



## IT パスポート試験の最近の出題傾向について

令和 4 年度から高等学校の共通必修科目として、「情報」が新設されたことをふまえ、IT パスポート試験の出題内容にも「プログラミング的思考力、情報デザイン、データ利活用等」が追加されました。プログラミング的思考力を問う問題としては、流れ図や擬似言語(擬似的なプログラミング言語)を用いた問題などが出題されています。

さらに、2024 年 4 月からは、AI 分野における「生成 AI」も、出題範囲に追加されており、「人間と対話しているかのような自然な文章」や「高クオリティな画像」を作成する「生成 AI」の仕組みや活用例、利用する上での留意事項に関する内容が出題されています。

## 4 . IT パスポート試験の統計情報 (年度ごとの累計)

累計応募者数 200 万人突破！	応募者数	受験者数	合格者数	合格率
2020 年 4 月～2021 年 3 月	146,971	131,788	77,512	58.8%
2021 年 4 月～2022 年 3 月	244,254	211,145	111,241	52.7%
2022 年 4 月～2023 年 3 月	253,159	231,526	119,495	51.6%
2023 年 4 月～2024 年 3 月	297,864	265,040	133,292	50.3%

## 5 . IT パスポート試験の申込みについて

CBT 方式の IT パスポート試験は随時実施されており、受験者が都合のよい日時・会場を選択して受験することができます。受験申込みは、受験日の 3 か月前から試験前日の午前中まで可能であり、採点結果は試験終了直後に画面上で確認できます。

試験会場、試験会場ごとの試験開催日時、申込方法等の詳細については、IPA の「IT パスポート試験」の専用サイト(以下、専用サイト)をご覧ください。

<https://www3.jitec.ipa.go.jp/JitesCbt/index.html>

IT パスポート試験に関する問合せ:03-6631-0608(IT パスポートコールセンター)

## IT パスポート試験の受験申込み～受験までのおおまかな流れ

**利用者登録:** 専用サイトより、利用者 ID と電子メールアドレスの登録を行います。

→初回ログイン後、パスワードを変更し、個人情報等の入力を行います。

**申込み:** 受験料の支払方法がクレジットカード、パウチャーの場合は受験日前日の午前中までに、コンビニの場合は受験日の 5 日前までに、専用サイトで試験会場、試験日、時間帯を指定・予約し、受験番号、利用者 ID、確認コード等が記された「確認票」を印刷しておきます。〔試験会場、試験日、時間帯は、予約を行った後でも、試験日の 3 日前までなら変更可能です。〕

**試験当日:** 「確認票(又は受験番号・利用者 ID、確認コードをメモしたもの)」と「身分証明書」を持参して試験会場へ行き、受付に提示します。〔身分証明書は顔写真付きの本人であることを証明できるもの(パスポート、運転免許証、マイナンバー個人番号カード[顔写真付き]、外国人登録証など)です。〕受付の指示に従い、ロッカーに荷物を入れ、コンピュータールームに入室。指定された座席に着席し、ログインします。

## IT パスポート試験の専用サイトで、CBT の疑似体験しておこう！

CBT 方式の試験は、マークシート試験などとは実施方法が大きく異なるため、専用サイトでは、受験の前に受験画面や操作方法を体験・確認できるようにすることを目的として、「IT パスポート試験疑似体験用ソフトウェア」を公開しています。

このソフトウェアは下記ページからダウンロードできます。

[https://www3.jitec.ipa.go.jp/JitesCbt/html/guidance/trial\\_examapp.html](https://www3.jitec.ipa.go.jp/JitesCbt/html/guidance/trial_examapp.html)

### ダウンロード方法↓

試験申込みページ「<https://www3.jitec.ipa.go.jp/JitesCbt/index.html>」の左側の項目一覧から「CBT 疑似体験ソフトウェア」をクリックしてダウンロード。

または、試験申込みページのタブ見出し「受験案内」をポイント

→「CBT 疑似体験ソフトウェア」をクリックしてダウンロード。

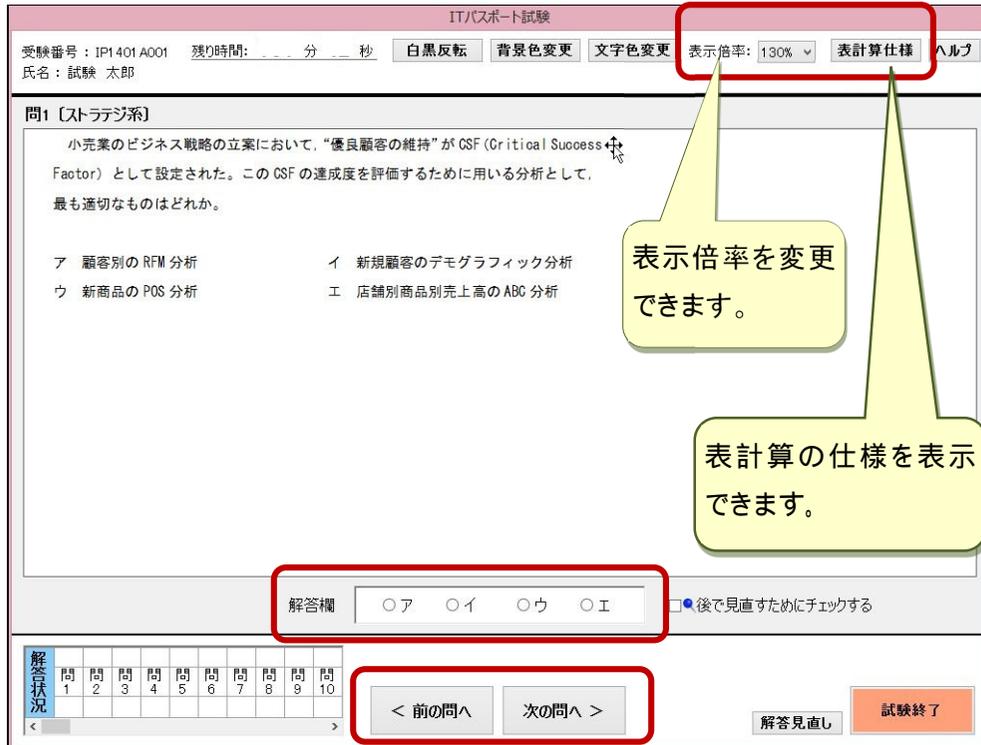
受験前に必ず疑似体験しておきましょう！

\*\*\*\*\*操作画面の見本 (IT パスポート試験)\*\*\*\*\*

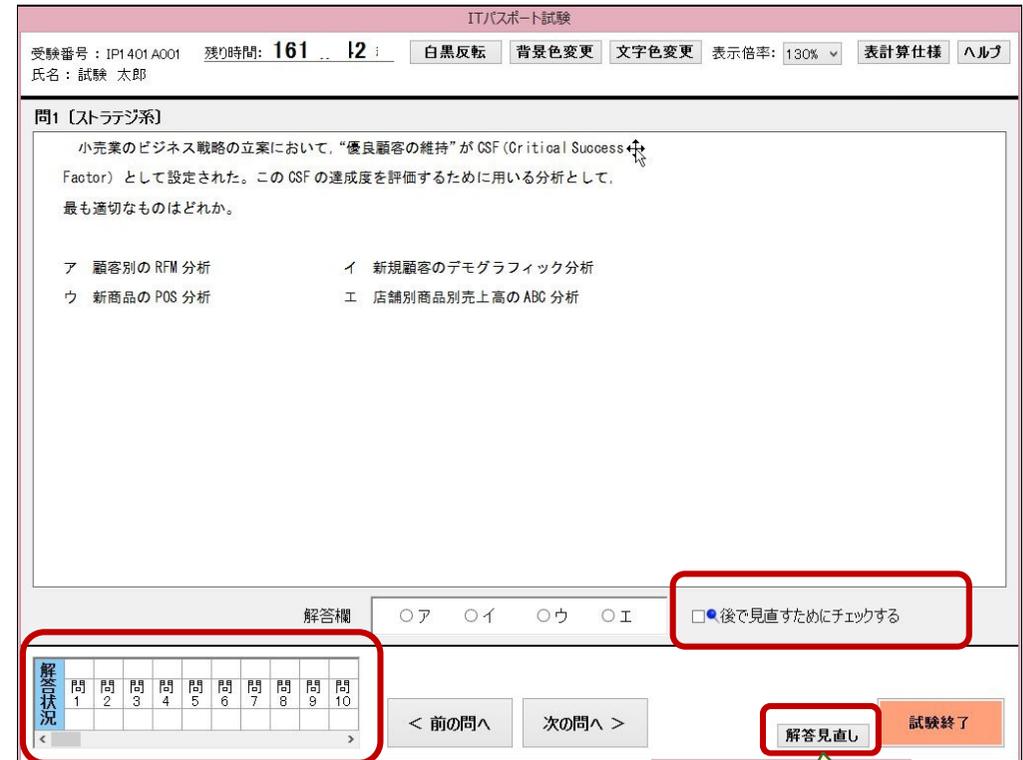
### ログイン画面

- ログイン後に注意事項と操作説明(複数ページ)が表示されます。
- 「試験開始」ボタンをクリックすると、試験開始となり、残り時間が表示されます。

## 問題画面



- 文字の表示倍率等を変更することができます。
- 「表計算ソフトの機能・用語(ITパスポート用)」を表示して確認できます。
- 問題はストラテジ系, マネジメント系, テクノロジ系の順に出題されます。
- 問題文を読み, 解答欄の「ア, イ, ウ, エ」のうちの一つをクリックして選択します。
- 「次の問へ」をクリックすると, 次の問へ移動します。100 問目の場合は問 1 へ移動します。
- 「前の問へ」をクリックすると, 前の問へ移動します。



- 後で見直したい問題には, チェックボックス「後で見直すためにチェックする」をクリックしておく。画面左下の「解答状況」欄に印が付きます。
- 画面左下の「解答状況」欄では, 問 1~100 までスクロールして表示できます。問番号をダブルクリックすると, 選択した問題にすばやく移動できます。
- 「解答見直し」ボタンで, 解答一覧を表示できます。
- 画面右下の「試験終了」をクリックすると, 解答を終了して採点に移ります。
- 採点が終了すると, 総合評価点・分野別評価点が表示されます。

★その他: 電卓は使用できません。試験時間中には, 机上に用意されたメモ用紙にメモをとることができます(このメモは持ち帰ることはできません)。

## 6 . IT パスポート試験の対策

### 学習にあたっての心得

少なくとも最低限のオフィスツール(ワープロソフト, 表計算ソフト, 電子メールソフト, Web ブラウザなど)は, あらかじめ使えるようにしておきましょう。

通勤・通学の電車の中など, 細切れの時間を有効に使うことを心がけましょう。

新聞や雑誌等の IT 関連・ビジネス関連の記事には, こまめに目を通しましょう。

(特に, データの利活用やデータサイエンス, AI の利活用, IoT などに関連する用語や, セキュリティ関連の内容については出題が多いので, 要チェックです!)

**合格するまでのプロセスを十分に楽しみましょう。**(各学習項目と自身の暮らしや仕事との関わりを確認しながら, 視野が広がっていくことを楽しみましょう!)

### 初学者が用意すべき教材

- a. 試験対策テキスト(出題範囲全般の基礎知識が載っている受験参考書)
- b. 試験対策問題集(分野別に練習問題・予想問題が載っている基本問題集)
- c. 本試験問題集(過去 3 回程度の本試験問題(公開問題)が掲載されたもの)

TAC の IT パスポート講座にご参加いただく場合は, 教材 a, b, c に加え, 実力テスト問題等を配布させていただきます。また, 最終回に「**総合実力テスト**」を実施します。

### 試験対策のポイント

ストラテジ系, マネジメント系, テクノロジ系でバランスよく得点できるよう, 苦手分野を克服するようにしましょう。

計算問題が数問程度出題されると思われます。電卓は使用できませんので, 筆算の練習をしておきましょう。

(なお, 試験当日は, 試験会場の机の上に用意されたメモ用紙に, 計算式と途中結果をなるべくきれいに書いておくと, 計算ミスの防止になりますし, 見直しをするときにも役立ちます。ただし, 試験会場のメモ用紙は持ち帰れませんのでご注意ください。)

実務で遭遇する身近な場面を取り上げた事例問題などでは, 知識に加えて文章理解力, 図表を読み取る力, 判断力などが要求されることがあります。問題集の過去問題や予想問題をじっくり解いて, 対応できるようにしておきましょう。

日ごろから新聞(ニュースサイト)や雑誌等の IT 関連の記事を意識して読んだりすることを心がければ, 「IT 知識」と「文章理解力」の両方が身につきますよ。

**擬似言語**を用いたプログラミングの問題にも慣れておきましょう。(ただし, プログラミングの問題は時間がかかることも多いので, 試験当日は後回しにしましょう。)

## 7 . 学習プランのご提案 (独学者を想定した一例です)

令和 6 年(2024 年) 5 月 … 受験を決意する

### 令和 6 年 5 月下旬 ~ 6 月下旬 : 試験対策(1)

「試験対策テキスト(前述の教材 a)」をさっと眺めて, 自身の得意な分野, 不得意な分野を把握しておく。

「試験対策テキスト」でインプット学習を行う。(用語や理論を覚える。)

インプット学習が終わった分野から, 「試験対策問題集(教材 b)」の問題を解く。新聞や雑誌の IT 関連や, ビジネス戦略関連の記事に目を通すことを習慣づける。(受験参考書に記載のない, 新しい用語などが出題されることも多いです。)

### 令和 6 年 7 月上旬 ~ 8 月中旬 : 試験対策(2)

「試験対策問題集」の解けなかった問題については, 解説を読んで覚える。

テキストや問題集の問題を暗記するのではなく, きちんと理屈を理解する。

正解以外の選択肢, 周辺の知識もインターネットなどで調べ, ノートなどにまとめておく。(IT パスポート試験では, 過去問題とまったく同じ問題が出題されることは少ないので, 暗記だけでは試験対策になりません。)

IT パスポート試験の受験申込みを行う。

(受験申込みは, 受験日の 3 か月前から可能です。会場に空きがあれば, 受験日前日の午前中までは申込み可能ですが, 早めに申し込んだほうが早いうちに心の準備もできますし, 計画的に学習を進めることができます。)

### 令和 6 年 8 月中旬 ~ 9 月上旬 : 試験対策(3)

IT パスポートの「本試験問題集(教材 c)」の[問題を解く] [解説を読む]を繰り返す。

「**試験疑似体験用ソフトウェア**」なども活用して CBT に慣れておく。また, 時間配分の練習をしておく。

知識の確認を行う。

**9 月上旬 ~ 中旬に IT パスポート試験を受験**

いかがでしたか?

これを機会に IT パスポート試験を受験してみませんか?

私達と一緒に, 試験勉強を楽しみましょう!

